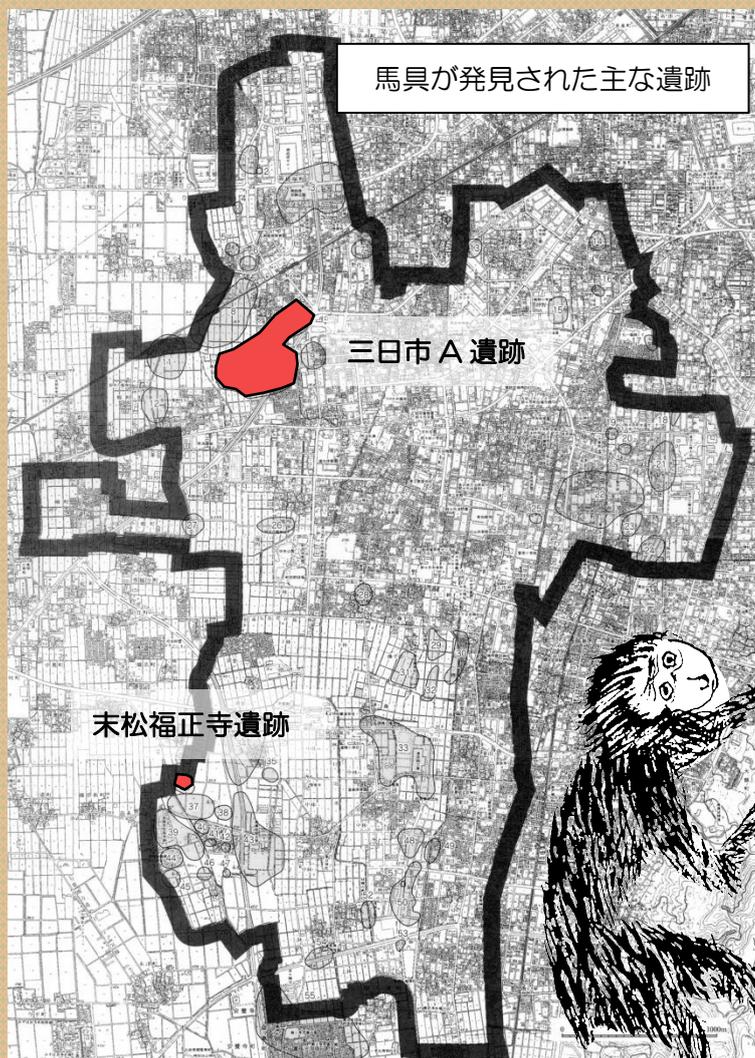


出土した馬具

日本人と馬の歴史は、今から約 1,500 年前（4 世紀頃：古墳時代）からはじまったといわれています。朝鮮半島よりもたらされた馬は、数が限られていたため、日本ではとても大切に飼育されました。

野々市で、最も古い馬の資料は、7 世紀頃（飛鳥時代）の馬具です。この馬具は、末松福正寺遺跡の発掘調査によって見つかりました。また、近年の調査で、三日市 A 遺跡から室町時代（15 世紀頃）の馬具も見つかっています。遺跡から馬の道具が発見される例が少ないことから、これらはとても貴重な資料であると



共に、昔から野々市に馬の往来があった証拠といえます。



三日市 A 遺跡 発掘調査時のようす

野々市市は、市内各地に遺跡が広がっているんだよ。これからも新しい馬具が発見されるかも？